

科 目 名	学科／学年	年度／時期	授業形態
社会人基礎	全学科/1年	2026／通年	講義
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員
6 単位（90時間）	必須		西川 覚
授 業 の 概 要			
・ 専門学校での学習の意味を理解し進路を決定する際に必要な知識とスキルを身につける ・ 日頃の習慣が自分の進路選択に与える影響が大きいことを理解する ・ その他学習状況のヒアリングや個別のアドバイスを実施する（HR的内容）			
授業終了時の到達目標			
・ 自己PRや志望動機など履歴書に必要な項目を自ら考えて表現することが出来る ・ 就職活動の進め方を理解し自主的に活動することが出来る ・ 物事の見方と考え方や話しを聴くことの重要性を理解して問題意識を持つことが出来る			
実務経験有無	実務経験内容		
有	人材総合サービスにて人材育成支援に従事		
時間外に必要な学修			
・ 良い習慣を身につけるために自分がすべきことに気付き日々行動すること（日々の振り返りと反省と反復）			
回	テ ー マ	内 容	
1	新しい学びを効果的にする	穴吹学園での学び方について（社会人基礎で学ぶ内容について）	
2		話の聴き方（メモ、スケジュール管理の重要性）	
3		偶然がつくる人生 →宿題①	
4		モノの見方① →宿題②	
5		モノの見方② →宿題③	
6	卒業後をイメージして学ぶ	就職活動の世界を知る① →宿題④	
7		就職活動の世界を知る② →宿題⑤	
8	文章による表現の仕方を学ぶ	履歴書の書き方と伝え方+履歴書を作成する（左半分） →宿題⑥	
9		自分を知る工夫①（自己分析）	
10		自分を知る工夫②（他己分析）	
11		文章の書き方と構成の仕方（自己紹介文作成）	
12		文章の書き方と構成の仕方（自己紹介文作成） →課題①	
13		文章の書き方と構成の仕方（自己紹介文+記入）	
14		文章の書き方と構成の仕方（趣味特技・特記事項作成）	
15		文章の書き方と構成の仕方（趣味特技・特記事項+記入）	
16		資格・検定の記入 →課題②	
17	情報の集め方を学ぶ	情報収集編（学校メールの活用+情報収集の方法）	
18		求人票の見方を知る	
19		興味のある仕事について調べる →課題⑦	
20		興味のある仕事について調べる（志望動機を考える）	
21		興味のある仕事について調べる（志望動機を考える+記入）	
22	言葉での表現の仕方を学ぶ	考え方（その1）①②	
23		他の学生との違いをアピールする方法	
24		企業の話しを聞こう	
25		面接のポイントを理解する	
26	進路について考える	進路面談（進路調査票記入+履歴書）記入 →課題③	
27		進路面談（進路調査票記入+履歴書）記入	
28		進路面談（進路調査票記入+履歴書）記入	
29		進路面談（進路調査票記入+履歴書）記入	
30		進路面談（進路調査票記入+履歴書）記入	
教科書・教材		評価基準	評価率
熱血！森吉弘の就勝ゼミ教材		出席・取り組み方 宿題①～⑦	60
		提出課題評価①～③	40
			質問はメールにて受け付けます

作成者:岩竹

科 目 名	学科／学年	年度／時期	授業形態
計画論1	建築学科／1年	2026／前期	講義
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員
2単位（30時間）	必須		岩竹 俊範
授 業 の 概 要			
人間の基本動作から導き出される各部寸法の把握、および小規模建築から、より広範囲にわたる大規模建築の計画基礎を学び、建築、 インテリアをデザインする上で必要となる事項を修得する。			
授業終了時の到達目標			
規模計画のための原単位と各建築物およびその室の計画要点を理解することができる。 ・（A評価）小テスト合計80点以上 8割以上 ・（B評価）小テスト合計70～79点 7割 ・（C評価）小テスト合計60～69点 6割 ・レポートの課題を出した場合は評価に加味する			
実務経験有無		実務経験内容	
有		ure主催。 設計、監理業務に関する一連の実務経験	
時間外に必要な学修			
次回授業範囲の教科書を予習と授業の内容を復習する。			
回	テ ー マ	内 容	
1	第1章 計画と設計	授業内容、評価方法の説明。 なぜ建築計画を学ぶか	
2	第2章 居住施設の計画	住様式と住宅の変化、戸建住宅	
3		戸建住宅、集合住宅	
4		集合住宅	
5		細部計画	
6	第3章 学校教育施設の計画	幼稚園（保育園）	
7		小学校・中学校	
8	第4章 社会教育施設の計画	生活圏とコミュニティ施設、図書館	
9		美術館、コミュニティセンター・公民館	
10	第5章 医療施設・福祉施設の計画	高齢社会と建築計画、病院	
11		病院、高齢者施設	
12	第6章 商業施設の計画	規模計画と経済効率、事務所ビル	
13		劇場・音楽ホール、百貨店・スーパーマーケット	
14		宿泊施設（ホテル）、駐車場	
15	第7、8章 外部空間の計画 自然現象、建築、知覚	外部空間把握、外部空間の計画手法、自然現象の知覚視覚と建築、寒暑感覚と建築、聴覚と建築	
教科書・教材		評価基準	評価率
初学者のための建築講座 「建築計画」（市ヶ谷出版社）		小テスト+レポート+授業ワーク	100.0%
			簡単な質問は授業前、後に受け付ける。

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
材料学		建築学科／1年	2026／前期	講義
単位数または時間数		必修・選択必修・自由選択		担当教員
2 単位（30時間）		必須		玉田 美貴
授 業 の 概 要				
建築・インテリア空間を構成しているものすべてが「インテリアエレメント」。項目ごとに、種類および分類をテキスト・写真で確認し、知識を深めていく。木質系素材・左官・タイル・ガラスなどの具体的な建築材料の性質と特徴などを項目ごとに学ぶ。また、机上のみではなく、実物に触れることにも重点を置きたい。なお知識定着のため期末試験及び期末レポートを提出させる。この授業を通して得た知識を建築設計・インテリアコーディネートPLANに反映させる。				
授業終了時の到達目標				
（基本目標：C以上） ・インテリア空間を構成している様々な要素と役割を理解できる ・建築を構成する部材はどのような材料できているのか理解できる （標準目標：B以上） ・各インテリアエレメントの商品知識と専門用語を理解できる ・建築材料の性能・特徴の理解が深まっている （発展目標：A） ・建築設計に必要なとなる材料選定の基本が理解でき、PLANに反映できる ・エレメントの知識を活かした幅広いスタイルのインテリアコーディネート・デザインができる ・インテリア・建築に関する資格習得につなげる				
実務経験有無		実務経験内容		
有		インテリアコーディネート・デザイン・設計（戸建・集合住宅・店舗・事務所等）の実務経験経験		
時間外に必要な学修				
各回の授業の内容をテキストで見直し、自分なりに整理する。身の回りのインテリアエレメント・インテリア材料・建築材料を意識する。また建築材料は日進月歩進んでいる。専門雑誌やwebなどの関連参考資料など情報収集することを習慣化すると共に、日頃から建築物や内装に目を向け、素材は何を使っているのか？探求する心を養う。				
回	テ ー マ		内 容	
1	インテリアエレメント		インテリアエレメントとは	
2	内装の仕上げ材の基本・選定方法		床・壁・天井材料の種類	
3	内装材		壁紙・フロア材・カーテン等の種類・機能	
4	内装材見学		床材・壁紙・カーテン等のメーカーサンゲツさまショールーム見学	
5	焼成品・ガラスと石・左官材料・その他の材料		タイル・レンガ・瓦・ガラス・石・左官・その他（塗料・プラスチック等）の特徴・種類	
6	照明		照明の基礎知識・照明器具・光源など	
7	照明メーカーショールーム見学		照明メーカー大光電機様ショールーム見学	
8	メラミン化粧板・ポリ合板・シート 等		メラミン化粧板・ポリ合板・シート等の特徴・使い方・その他	
9	家具		家具の分類・名称・椅子のデザインなど	
10	住宅展示場見学		ハウスメーカー展示場見学	
11	設備機器		キッチン・浴室・トイレ・洗面 TOTO様ショールーム見学	
12	建具・フローリング		建具・フローリングの種類・特徴・構造など	
13	和室の造作・インテリアアクセサリ		和室各部の名称など・インテリアアクセサリの種類	
14	金属・樹脂 等		金属・鋼材・樹脂とは・性質・種類など	
15	まとめ試験		復習まとめ試験及び私の好きな材料についてレポート提出	
教科書・教材			評価基準	評価率
世界で一番やさしいインテリア やさしい建築材料 プリント			各授業レポート 期末レポート 授業への取り組み	50% 40% 10%
				その他 質問、チェック依頼はEメールでも受け付けます。

作成者:中野 凌

科 目 名	学科／学年	年度／時期	授業形態
福祉住環境計画論	建築学科/1年	2026／後期	講義
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員
2単位（30時間）	必須		中野 凌
授 業 の 概 要			
高齢者や障害者に対して住みやすい住環境を提案するための福祉、建築・インテリアなどに関する知識を体系的に身につける			
授業終了時の到達目標			
高齢者や障害者の具体的事例に対して適切に対処できる。住環境整備に関する制度や設計指針の活用法、また福祉用具、介護用品から家具の選択と利用方法を理解・習得し、適切なアドバイスができるようになる。			
実務経験有無	実務経験内容		
有	介護施設での介護・福祉に関する全般的な実務経験		
時間外に必要な学修			
生活している中にあるバリアを発見する。高齢者や障害者と共生するとはどういうことを考えてみる。			
回	テ ー マ	内 容	
1	第一章 暮らしやすい生活環境を目指して	授業概要、1節 少子高齢社会と共生社会への道	
2	同上	2節 福祉住環境整備の重要性・必要性	
3	同上	3節 在宅生活の維持とケアサービス・高齢者との関わり	
4	第二章 健康と自立を目指して	1節 高齢者の健康と自立	
5	同上	2節 障害者が生活の不自由を克服する道	
6	第三章 バリアフリーとユニバーサルデザイン	1節 バリアフリーとユニバーサルデザイン	
7	同上	前半テスト（第1章～第3章）	
8	同上	2節 生活を支えるさまざまな用具・第4章について	
9	第四章 安全・安心・快適な住まい	1節 住まいの整備のための基本技術・社会の現状について	
10	同上	2節 生活行為別に見る安心、安全、快適な住まい	
11	排泄・整容・入浴介助について	高齢者や障害者の方への生活に関する介助方法について	
12	第五章 安心できる住生活とまちづくり	1節 ライフスタイルの多様化と住まい	
13	同上	2節 安心できる住生活 3節 安心して暮らせるまちづくり	
14	同上	後半テスト（第3章～第5章）	
15	特別講義	共生社会について：写真家の方に実体験をもとに共生社会・多様性について講義をしていただきます。講義後、レポートを提出。	
教科書・教材		評価基準	評価率
福祉住環境コーディネーター検定試験3級		・ 前半試験 ・ 後半試験 ・ レポート提出	45.0% 45.0% 10.0%
			その他

科 目 名	学科／学年	年度／時期	授業形態	
空間表現基礎2	建築学科／1年	2026／前期	演習	
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員	
1単位(30時間)	必修		池田 美和子	
授 業 の 概 要				
Adobe Illustrator、Photoshopの基礎を学び、プレゼンテーションボードの制作ができるようになる。				
授業終了時の到達目標				
(基本目標:C以上) ・Adobe illustrator,Photoshopを用いて、プレゼンテーションボードを作成することができる。 (標準目標:B以上) ・Adobe illustrator,Photoshopを用いて伝わるデザインを考え、表現することができる。 ・Adobe illustrator,Photoshopの操作を理解し、印刷ができる。 (発展的目標:A) ・Adobe illustrator,Photoshopを用いて工夫を凝らし伝わるデザインを表現することができる。 ・Adobe illustrator,Photoshopの操作を理解し、他者に教えることができる。				
実務経験有無	実務経験内容			
有	エクステリアの設計、デザイン			
時間外に必要な学修				
基本操作の復習、CADソフト(JW)の学習				
回	テ ー マ	内 容		
1	オリエンテーション	Windowsの設定 ソフトウェアインストール この授業について IllustratorとPhotoshopについて概要をつかむ 授業のゴール(目標)について		
2～4	Illustrator基礎	画面説明 図形ツール 選択・移動・整列 線・パス ペンツール(軽く) レイヤー 線の太さ 線種(破線など) スケール感について		
5～7	CADデータとの連携	CADデータについて Illustratorでの読み込み よくある崩れ レイヤー整理 線の太さ調整 不要線削除 線の強弱 塗り(ゾーニング) 簡単な着色		
8	Illustratorでのレイアウト	文字入力 フォント 余白・配置		
9	Photoshop基礎	画面説明 画像補正(明るさ・色) 切り抜き		
10	Photoshop応用	合成 影・光 テクスチャ		
11	Illustrator×Photoshop連携	画像配置 リンク画像 書き出し		
12	構成設計	ボード構成の考え方 視線誘導 情報の優先順位		
13・14	プレゼンテーションボード作成	個別制作		
15	まとめ	鑑賞・講評		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
Trannig Sheet、スライド、参考資料などを		プロセス 途中課題 最終課題	30% 30% 40%	Google Classroom を活用 する

作成者:

科 目 名	学科／学年	年度／時期	授業形態
空間表現基礎1	建築学科／1年	2026／後期	演習
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員
1 単位（44時間）	必須		小笹 和子
授 業 の 概 要			
手描きパースの指導・実習を行う。住宅のインテリア空間及び外観をスケッチ、パース（簡略図法）で立ち上げインキングや着色を行う。			
授業終了時の到達目標			
[基本目標]・図面を基に縮尺に正確に立ち上げが出来る・パースのグリッドの取り方を理解する・マーカーによる着色表現が出来る　[標準目標]・自身の空間デザインイメージを正確に一消点パースで表現出来る・アイソメトリックパースで空間表現が出来る・マーカーによる着色表現のステップアップ（陰影表現）　[発展的目標]・二消点の外観パース表現が出来る・インテリア及びエクステリアのデザインイメージが表現出来、パースを取り入れたプレゼンテーションが出来る			
実務経験有無	実務経験内容		
有	パース制作デザイン事務所を経て、内装及び外観パース制作・指導に従事。他、手描きイラストやデザイン制作等。		
時間外に必要な学修			
立体や空間を二次元で表現する演習なので、日頃からモノやデザインのイメージ等をラフスケッチする癖をつけることが実践に繋がる。			
回	テ　　マ	内　　　　容	
1	第1課題「箱のスケッチ」	授業概要説明・フリーハンドラインレッスン・箱のスケッチ演習・点景演習	
2	一消点パースの基礎　第2課題「室内の一消点パース」	四角い箱を立ち上げる演習・リビングルームの一消点パースのグリッドの作成と下書き	
3		リビングルームの一消点パースのインキングとマーカー着色	
4	校外学習①	ショップ見学とスケッチ演習	
5	第3課題「アイソメトリックパース」	ミニギャラリーの展示プランニングとアイソメトリックパースの下書き、インキング、着色	
6	第4課題「企業向けプレゼンテーションパース」	グループワーク、プランニング、内装及び外観パースの下書き、インキング、着色	
7		制作継続	
8		制作継続	
9		制作継続・プレゼンテーション準備	
10	校外学習②	出張ワークショップ	
11	プレゼンテーション	プレゼンテーションとまとめ・講評	
12			
13			
14			
15			
教科書・教材		評価基準	評価率
「スケッチ感覚でインテリアパースが描ける本」		到達目標に即して各課題の提出物及び到達度で評価	100%
			質問等はメールでも受付ます。補習も要相談。

作成者:

科 目 名	学科／学年	年度／時期	授業形態
建築CAD製図1	建築学科／1年	2026／後期	演習
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員
2 単位（60時間）	必須		橋本 明美
授 業 の 概 要			
建築CADソフトJW_cadの操作を習得し、建築製図の知識をもとにCADによる図面の作成方法等について学ぶ。			
授業終了時の到達目標			
CADの特徴を理解し、操作方法を身に付け、習得した建築製図や設計手法をCADソフトを使用して表現できる。			
実務経験有無	実務経験内容		
有	建築設計事務所での設計・監理業務		
時間外に必要な学修			
CADソフトを使ってどれだけ作図したかがCADの技術習得の向上につながるので、操作の復習など積極的にCADを使って慣れる。			
回	テ ー マ	内 容	
1	基本操作・作図練習①	JW_cadの基本操作□作図と消去、画面表示の操作、作図の編集	
2	作図練習②	寸法の決まった図の作図と図面保存、図面を開き、かき加える	
3	作図練習③	簡単な平面図の作図、家具の作図	
4	作図練習④、課題図面の作図	文字の記入、寸法の作図	
5	図面のかき方を学ぶ	レイヤ操作の習得と図面枠の作図□	
6	基本的な平面図の作図課題①	事務所ビル1 階平面図の作図 1	
7	基本的な平面図の作図課題②	事務所ビル1 階平面図の作図 2	
8	基本的な平面図の作図課題③	事務所ビル2 階平面図の作図 1、データの整理を学ぶ	
9	基本的な平面図の作図課題④	事務所ビル2 階平面図の作図 2	
10	基本的な平面図の作図課題⑤	完成図をみながら家具をレイアウトする	
11	応用課題①	完成図をみながら平面図を作図する、レイヤグループの扱いを学ぶ	
12	応用課題①	完成図をみながら展開図を作図する	
13	応用課題②	住宅図面のトレース 1	
14	応用課題②	住宅図面のトレース 2	
15	応用課題②	住宅図面のトレース 3 まとめ	
教科書・教材		評価基準	評価率
・やさしく学ぶJw_cad8デラックス版 ・プリント配布□		・すべての課題を提出する ・提出期限は厳守 ・到達目標の到達度と課題提出物により総合的に評価する	100%
			その他

科 目 名	学科／学年	年度／時期	授業形態
建築CAD製図 2	建築学科/1年	2026／前期	演習
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員
2 単位（60時間）	必須		半田 和之
授 業 の 概 要			
【目的】 3DCADによる3次元化技術を養い、プレゼンテーションの幅を広げる。 【到達目標】 C評価（基本）： 操作や設定の基本を理解し、図面・図形を作図できる。 B評価（標準）： 建築製図の知識を活かし、要求に応じた図面を正しく作成できる。 A評価（発展）： 自主的な工夫を凝らし、要求を超えるデザインや高度な図面表現ができる。			
授業終了時の到達目標			
1. ソフト基本操作を理解し、図形の作図ができる 2. 2次元及び3次元ツールを操作し、図面の作図ができる 3. 3DCADを活用し、プレゼンテーション内容の充実を図ることができる			
実務経験有無		実務経験内容	
有		建築設計事務所での設計・監理業務に関する一連の実務経験	
時間外に必要な学修			
授業で学んだことを他の授業でも活用し、実践を通して理解を深めること。 また、建築インテリアに限らず専門雑誌やwebなどの関連参考資料を常にチェックしておくこと。			
回	テ ー マ	内 容	
1	3DCGとは	授業内容の説明、ソフトの説明、ソフトのインストール、作業環境設定、ソフトの操作	
2	基本操作Ⅰ・Ⅱ【SKETCHUP】	画面と各部名称、基本操作、レイヤの設定と縮尺、3D作図の基本	
3	3D作図基礎Ⅰ【SKETCHUP】	3D作図の基本	
4	3D作図基礎Ⅱ【SKETCHUP】	3Dモデリング1	
5		3Dモデリング2	
6		3Dモデリング3	
7	3D作図基礎Ⅲ【TWINMOTION】	3Dレンダリング1	
8		3Dレンダリング2	
9		3Dレンダリング3	
10	3D作図応用 【SKETCHUP+TWINMOTION】	課題作図 名作住宅を作る1	
11		名作住宅を作る2	
12		名作住宅を作る3	
13		名作住宅を作る4	
14		名作住宅を作る5	
15	まとめ	講評会、課題作品のブラッシュアップ	
教科書・教材		評価基準	評価率
SketchUpパーフェクト 作図実践+テクニック編 課題資料：プリント配布		到達目標に即して各課題の提出物及び到達度で評価する。	100%
			質問、チェック依頼はEメールでも受け付けます。

科 目 名	学科／学年	年度／時期	授業形態
建築製図1	建築学科／1年	2026／通年	演習
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員
3 単位（104時間）	必須		岡田 英治
授 業 の 概 要			
建築製図の基礎を実際の作図を通して習得する。 また、作図を通して建築・インテリア各部の基本的な名称、納まりなどについても学習する。 主に木造2階建て住宅を教材とし、鉄筋コンクリート造住宅についても行なう。			
授業終了時の到達目標			
二級建築士試験における製図の試験課題の答案レベルの作図表現をめざす。 CAD製図及び実務のために必要な図面を読み取る能力も身に付ける。 （目標） ・課題の内容を正しく、かつ線の強弱を用いて丁寧に分かりやすく作図できる ・作図した図面から立体空間を認識できる			
実務経験有無	実務経験内容		
有	建築設計事務所での調査、企画、設計及び工事監理業務に関する実務経験		
時間外に必要な学修			
課題で作図している内容を自宅に置き換えて確認してみること。 また、各部分の寸法を実際に測ってみること。			
回	テ ー マ	内 容	
1	ガイダンス、第1課題：「線の練習」	授業の注意事項及び製図道具の説明、線の太さと線の種類の描き分けの練習	
2	同上	同上	
3	第2課題：「木造住宅 配置図・平面図」	教科書の木造2階建て住宅の配置図、各階平面図を作図する	
4	同上	同上	
5	同上	同上	
6	同上	同上	
7	第3課題：「木造住宅 断面図・立面図」	教科書の木造2階建て住宅の断面図、立面図を作図する	
8	同上	同上	
9	同上	同上	
10	第4課題：「鉄筋コンクリート造住宅 配置図・平面図」	教科書の鉄筋コンクリート造2階建て住宅の配置図、各階平面図を作図する ＜本課題までを前期評価の対象とする＞	
11	同上	同上	
12	同上	同上	
13	第5課題：「鉄筋コンクリート造住宅 断面図・立面図」	教科書の鉄筋コンクリート造2階建て住宅の断面図、立面図を作図する	
14	同上	同上	
15	実務の設計図とその施工中、竣工の様子の紹介	担当教員が実際に担当した住宅等の実務の紹介を通じて実務の一端に触れる	
16	第5課題：「鉄筋コンクリート造住宅 断面図・立面図」	教科書の鉄筋コンクリート造2階建て住宅の断面図、立面図を作図する	
17	第6課題：「鉄筋コンクリート造住宅 矩計図」	教科書の鉄筋コンクリート造2階建て住宅の矩計図をトレースする	
18	第7課題：「木造住宅 矩計図」	教科書の木造2階建て住宅の矩計図をトレースする	
19	第8課題：「木造住宅 平面詳細図・展開図・天井伏図」	教科書の木造2階建て住宅の平面詳細図（和室）、展開図を作図する 教科書には記載のない天井伏図についても作図する	
20	同上	同上	
21	同上	同上	
22	第9課題：「二級建築士製図の試験過去課題答案例」	過去の二級建築士製図の試験で出題された課題の模範回答例を作図する ＜本課題までを後期評価の対象とする＞	
23	同上	同上	
24	同上	同上	
25	同上	同上	
26	まとめ・テスト	建築製図の総括と、スケール感のテストを実施する	
教科書・教材		評価基準	評価率
教科書：「初学者の建築講座 建築製図 最新版」 参考書：「構造用教材」 教材：平行定規他製図道具一式		課題が全て提出されているか	100.0%
			質問、チェック依頼などはEメールでも受付ます

作成者:佐々木智子

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
空間表現応用		建築学科／１年	2026／通年	演習
単位数または時間数		必修・選択必修・自由選択		担当教員
１単位（48時間）		必須		佐々木 智子
授 業 の 概 要				
・デザインにおける色彩の働き、重要性を知る。・系統的な色表示、さまざまな配色類型、色彩の心理的な側面を学ぶ。・色彩コンセプトに基づいた作品構成及びプレゼンテーションを行う。・色彩の基礎知識を学ぶことにより、個性を生かしながら、空間デザインにおける表現を豊かにする。・色彩検定UC級以上の合格を目指す。				
授業終了時の到達目標				
基本目標：C評価以上・ヒュートーンシステム概念について理解し、カラーコードとして使用できる・基礎配色をデザインに活用できる・色彩の科学について理解する標準目標：B評価以上・色彩検定UC級合格もしくはそれに準ずる学習度に達している発展的目標：A評価・デザインに対し、オリジナルな創作的姿勢や関心を持って取り組む				
実務経験有無		実務経験内容		
有		パーソナルカラールームT・I、NPO法人カラーリストジャパン協会でのカラーコンサルティングの経験を生かし、建築・インテリアにおけるカラーコーディネートの実務を指導する。		
時間外に必要な学修				
身の回りにあるさまざまな色彩デザインに興味、関心を持つこと。				
回	テ ー マ		内 容	
1	デザインと色彩について/色彩検定ガイダンス		授業の目的と進め方について、配色シートの作成、色彩検定に関する説明	
2	カラーシステムの理解		色の表示方法：PCCS、ヒュートーンシステムについて理解する、トーン図作成	
3			トーンイメージに基づく平面構成演習	
4			色相イメージに基づく平面構成演習	
5	色彩の心理的側面		色彩心理：色から連想されるもの、受けるイメージについて理解する	
6			色彩感情と色のイメージ	
7	基礎配色		色相配色について理解する	
8			トーン配色について理解する	
9			アクセントカラー、セパレーション、グラデーション	
10	環境における色彩計画		色彩が生活空間にどのような影響を与えるのか確認する	
11	色彩応用演習		配色分析／作品構成	
12	カラーサイエンス基礎①		色と光について	
13	カラーサイエンス基礎②		眼の構造及び働き	
14	カラーサイエンス基礎③		色の視認性、誘目性、識別性	
15	カラーコードに関する知識をその活用		マンセルシステム	
16	色彩検定対策強化		色覚のタイプによる色の見え方	
17	"		高齢者の見え方	
18	"		ユニバーサルデザインの進め方	
19	"		色の機能的役割	
20	"		問題演習	
21	"		過去問題演習	
22	"		過去問題演習	
23	インテリアにおける色彩表現		配色類型に基づいてインテリアパースに着色	
24	"		メージ配色に基いてインテリアパースに着色	
教科書・教材			評価基準	評価率
色彩検定UC級公式テキスト、色彩検定過去問題、新配色カード199b			到達目標に即して各課題の提出状況及び到達度で評価する	100%
				その他

科 目 名	学科／学年	年度／時期	授業形態
建築設計演習1	建築学科／ 1 年	2026／通年	演習
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員
2 単位（60時間）	必須		衛藤 翔平
授 業 の 概 要			
人間生活の基本となる住まい、居住空間の設計・デザインの知識と技術について、演習課題を通して体験的に習得する。住まいの設計はすべての建築（空間）設計の基本とも言われる。また、住まいとひとと言で言っても、ハウスメーカーの住宅から集合住宅、建築家やデザイナーの設計による個性的な住宅など、現代社会の中で多様な在り方が見受けられる。この授業を通して、住まいの設計の基本、さらには、現代建築の文脈の中で新しい価値を生むような住まいの在り方を探究できるような視点を育てる。			
授業終了時の到達目標			
(基本目標：C評価以上) ・住宅設計の基本プロセスが理解できる　・考えを少しでも設計に反映させることができる (標準目標：B評価以上) ・条件を整理し標準的な住宅が設計できる ・毎週（区切り）ごとに定期的にチェックを受けて案をより良いものに修正することができる ・第三者に伝えるうえで必要十分なプレゼン資料（模型・ボード）を制作できる (発展的目標：A評価) ・現代建築の文脈の中で先進的なコンセプト・提案性を持つ住まいの設計・デザインを考えられる ・他の学生に対し指標となる制作プロセスを授業中のデザインレビュー等で公開することができる ・第三者を魅了するプレゼン資料（模型・ボード）を制作できる			
実務経験有無	実務経験内容		
有	建築設計事務所での設計・監理業務に関する一連の実務経験		
時間外に必要な学修			
授業でのアドバイスを家庭学習に反映させ作業を進めること。 また、専門雑誌やwebなどの関連参考資料を常にチェックしておくこと。			
回	テ　　マ	内　　　容	
1	予備課題：建築的(空間的)視点	自己分析「好き」を言語化してみる(予備課題1)	
2		ミクロとマクロ(予備課題2)	
3	第1課題：名作との対話	名作住宅の図面トレース、基本構造と間取りの分析(課題1)	
4		名作住宅をアレンジするためのコンセプトを考える(課題2)	
5		プランニング	
6		住宅サイズのあれこれ(課題3)	
7		平面図チェック(課題4)	
8		断面図のはなし	
9		模型で確かめる	
10		模型写真を撮影する(課題5)	
11		プレゼンボードを作成する(課題6)	
12	予備課題	My home 20XX：将来の自邸について考えてみる	
13		↑	
14		↑	
15		公開プレゼンテーション(予備課題3)	
16	第2課題：街に開いた住宅	課題説明	
17		コンセプト設定(課題7)	
18		プランニングチェック(課題8)	
19		↑	
20		プレゼン資料作成(課題9)	
21		↑	
22		↑	
23	第3課題：周辺環境を読む	課題説明	
24		コンセプト設定(課題10)	
25		プランニングチェック(課題11)	
26		↑	
27		プレゼン資料作成(課題12)	
28		↑	
29		↑	
30		フィードバック	
教科書・教材		評価基準	評価率
初めての建築設計ステップ・バイ・ステップ 模型道具一式 製図道具一式（平行定規を除く） パソコン		到達目標に即して各課題の提出物 及び到達度で評価する	100.0% 質問、チェック依頼はE メールでも受け付けま す。

作成者:

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
ショップデザイン1		建築学科／1年	2026／通年	演習
単位数または時間数		必修・選択必修・自由選択		担当教員
1 単位（52時間）		必須		河江 正雄
授 業 の 概 要				
実際の設計業務に即し前期は1授業1テーマとして、イメージ模索、基本 計画、プレゼンボードの作成、プレゼン資料の作成をする。				
授業終了時の到達目標				
実際に設計を行う際に必要である業務を1年に渡って習得する。 実践で必ず必要となるプレゼン能力も同時に高める。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		建築設計事務所での設計・監理業務に関する一連の実務経験		
時間外に必要な学修				
授業でのアドバイスを家庭学習に反映させ作業を進めること。 また、専門雑誌やwebなどの関連参考資料を常にチェックしておくこと。				
回	テ ー マ		内 容	
1	1年間の授業内容の説明、資料配布		課題01、課題02、課題03-1	
2			課題03-2、模型の作り方の基本	
3			課題03-3、模型の作り方の基本	
4			課題03-4、模型の作り方の基本	
5			課題03-5、模型の作り方の基本	
6			課題03-6、模型の作り方の基本	
7			課題03-7、模型の作り方の基本	
8			課題03-8、模型の作り方の基本	
9			課題03-9、模型の作り方の基本	
10			課題03-10、模型の作り方の基本	
11			課題03-11、模型の作り方の基本	
12			課題03-12、模型の作り方の基本	
13			課題03-13、模型の作り方の基本	
14			課題03-14、模型の作り方の基本	
15			課題03-15、模型の作り方の基本	
16			課題03-16、模型の作り方の基本	
17			課題03-17、模型の作り方の基本	
18			課題03-18、模型の作り方の基本	
19			課題03-19、模型の作り方の基本	
20			課題03-20、模型の作り方の基本	
21			課題03-21、模型の作り方の基本	
22			課題03-22、模型の作り方の基本	
23			課題03-23、模型の作り方の基本	
24			課題03-24、模型の作り方の基本	
25			課題03-25、模型の作り方の基本	
26			課題03-26、模型の作り方の基本	
27			修了制作	
28			修了制作	
29			修了制作	
30			修了制作	
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
模型道具一式 製図道具一式		到達目標に即して各課題の提出物 及び到達度で評価する	100%	質問、チェック依頼は Eメールでも受け付け ます。

作成者:山根利之

科 目 名	学科／学年	年度／時期	授業形態
建築デザイン	建築学科／1年	2026／通年	演習
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員
1 単位（52時間）	必須		山根 利之
授 業 の 概 要			
建築の設計について、動線計画、断面計画、グリッドプラン、敷地計画などの設計の基本手法を実践的に習得するとともに、提案力と独創性を実践的に学習する。第2課題までを、建築設計演習2（2年生）と合同授業とし、縦割り教育を基に技術や知識を習得する。			
授業終了時の到達目標			
建築設計プロセスを理解できる。さらにそれらを活かして、修了制作へ発展させる。また、基本となる表現テクニックが身につく。 （基本目標：C評価以上） ・ 建築的空間の機能やコンセプトを立案することができる ・ 基本的な建築計画に沿って設計できる （標準目標：B評価以上） ・ 建築的空間の機能やコンセプトに基づいたデザインができる ・ 基本的な建築計画に沿った正確な図面表現によって設計できる （発展的目標：A評価） ・ 建築的空間の機能やコンセプトをデザインし、図面や模型を駆使して伝えることができる ・ 正確な図面表現とともにシャープな着想から導かれた独創性のある設計を提案できる			
実務経験有無	実務経験内容		
有	建築設計事務所の経験を活かし、公共建築の設計の知識と技術を教える。		
時間外に必要な学修			
設計課題に関する事例収集と敷地環境調査を行い、設計検討を重ね、各回のデザインレビューの準備をする。			
回	テ ー マ	内 容	
1	第1課題 「都市環境のデザイン1」	敷地設定、資料収集、事例紹介、コンセプト、テーマ検討	
2	オープンスペースのデザイン	フィールドサーヴェイ発表、デザインレビュー	
3	（1，2年生混成共同設計）	エスキス、スタディ、ディスカッション	
4		中間発表プレゼンテーション	
5		エスキス、スタディ、ディスカッション	
6		プレゼン準備	
7		プレゼン（ID・Ar 合同プレゼン） 課題提出	
8	第2課題 「図書館のデザイン」	敷地設定、資料収集、事例紹介、コンセプト、テーマ検討	
9	（1，2年生混成共同設計）	フィールドサーヴェイ発表、デザインレビュー	
10		エスキス、スタディ、ディスカッション	
11		中間発表プレゼンテーション	
12		エスキス、スタディ、ディスカッション	
13		プレゼン準備	
14		プレゼン（Ar・Id 合同プレゼン） 課題提出	
15	第3課題「都市環境のデザイン2」	敷地設定、資料収集、事例紹介、コンセプト、テーマ検討	
16	公衆便所（個人設計）	フィールドサーヴェイ発表、デザインレビュー	
17		エスキス、スタディ、ディスカッション	
18		エスキス、スタディ、ディスカッション	
19		中間発表プレゼンテーション	
20		エスキス、スタディ、ディスカッション	
21		2年生プレゼン見学（Ar・Id 合同プレゼン	
22		エスキス、スタディ、ディスカッション	
23		エスキス、スタディ、ディスカッション	
24		プレゼン準備	
25		プレゼンテーション 課題提出	
26		修了制作、予備日（不合格課題再提出）	
教科書・教材		評価基準	評価率
配布プリント 製図道具一式、模型製作道具一式		課題・レポート	100.0%
			提出期限に遅れた場合、追課題を課す。

科 目 名	学科／学年	年度／時期	授業形態
インテリアプランニング	建築学科／1年	2026／後期	演習
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員
1 単位（22時間）	必須		山根 利之
授 業 の 概 要			
住宅のリビングルーム、マンションのエントランス空間をデザインするための基礎的な知識・技術を修得する。			
授業終了時の到達目標			
インテリア設計プロセスを理解できる。さらに基本となる表現テクニックが身につく。 （基本目標：C評価以上） ・インテリア空間のコンセプトを立案することができる ・基本的なインテリア計画に沿って設計できる （標準目標：B評価以上） ・インテリア空間のコンセプトに基づいたデザインができる ・基本的なインテリア計画に沿った正確な図面表現によって設計できる （発展的目標：A評価） ・インテリア空間のコンセプトに基づきデザインし、図面や模型を駆使して伝えることができる ・正確な図面表現とともにシャープな着想から導かれた独創性のある設計を提案できる			
実務経験有無	実務経験内容		
有	建築設計事務所の経験を活かし、内部空間をデザインするための知識と技術を教える。		
時間外に必要な学修			
設計課題に関する事例データ収集と施設調査を行い、設計検討を重ね、各回のデザインレビューの準備をする。			
回	テ ー マ	内 容	
1	授業概要説明 第1課題 ①「住宅のリビングルーム」 ②「お気に入りのインテリア 写真のトレース着彩」	課題説明 資料収集、事例紹介、デザインテーマ・コンセプト検討。 様式、デザイナー研究	
2	確認、スタディ	①デザインレビュー ②トレース確認	
3	同上	同上	
4	第1課題プレゼン	発表と講評	
5	第2課題「マンションのエントランス」	課題説明 資料収集、事例紹介、デザインテーマ・コンセプト検討。 マンションのエントランス研究	
6	デザインレビュー	ラフデザイン案発表、コンセプト	
7	同上	同上	
8	中間プレゼン	発表と指示	
9	デザインレビュー、作業	模型、作品ボード作業	
10	第2課題プレゼン	発表と講評	
11	予備日	不合格者再提出	
教科書・教材		評価基準	評価率
配布プリント 製図道具一式、模型製作道具一式		課題	100.0%
			提出期限に遅れた場合、追課題を課す。

作成者:

[illegible]